

第93号 障がい学生支援室だより

教育推進機構 障がい学生支援室 2025年10月発行

今月のテーマ

Q&A17:災害が起きたとき、どうする?

Q:災害が起きたとき、障がいの
ある人はどんなことに困るんですか?

災害が起きると、誰もが混乱しますが、障がいがある人は特に大きな困難に直面することがあります。以下がその代表的な例です。

■情報伝達

- ・視覚障がい:文字だけの避難情報が読めない、周囲の被害状況がわからない
- ・聴覚障がい:音声アナウンスや警報音、周囲からの指示がわからない
- ・知的・発達障がい:混乱した状況の理解ができない、困りごとを伝えられない

■避難

- ・車椅子使用者、歩行困難者:エレベーターが止まり、垂直避難(上下階への移動)が難しい、段差や瓦礫などにより、移動が困難になる
- ・視覚障がい:安全な避難経路がわからない、障害物を回避できない、点字ブロックが使えない
- ・内部障がい・難病:在宅で大事な治療機器を使用している場合、すぐに避難行動が取れない

■避難所での生活

- ・聴覚障がい:スピーカーなどで伝えられる情報に気づけない
- ・車椅子使用者、歩行困難者:バリアフリー化されておらず、排泄や睡眠、食事など生活が極めて困難になる
- ・内部障がい・難病:特定の治療機器がつかなくなったり、定期的な治療や特定の薬が手に入らず、命に関わる場合がある
- ・知的・発達障がい:いつもと違う環境でパニックに陥り、避難所に入れなくなったりする

■誰にとっても大事な災害への備え

災害はいつどこで起こるかわかりません。自分の身を守るために、まずは災害の備えを確認しましょう。

- ✓ 水・食料の備蓄(3日分程度)
- ✓ 自宅付近の避難場所と避難経路の確認
- ✓ 家族との連絡方法の確認(災害用伝言ダイヤル171など)
- ✓ 非常持ち出し袋の準備(セットで売ってあるものが便利です)
- ✓ 家具の転倒防止対策

■「声かけ」が命を救うこともあります

災害時、困っていてもSOSを出せないこともあります。

困っていそうな人やヘルプマークをつけている人がいたら、まずは自身の安全を確保した上で、声をかけてください！

「何かお手伝いできることはありますか？」

「一緒に避難しましょうか？」

正確な情報、安全を確保する方法を伝え、誘導しましょう。

声かけや誘導の具体例

■視覚障がい

- ・声をかけるときは自分から名乗る
- ・「あちら」ではなく「右に3メートル」と具体的に
- ・誘導時:腕や肩を貸し、半歩前を歩く。手や白杖を引っ張るのは危険です
- ・段差・曲がり角は事前に声をかける

■聴覚障がい

- ・正面から身振りて注意を引く
- ・スマホのメモや文字、身振り手振りで情報伝達
- ・口の動きが見えるようマスクを外す(可能なら)
- ・暗ければ懐中電灯/スマホのライトなどの光を利用して

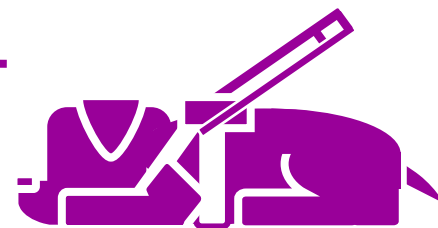


■車椅子使用者、歩行困難者

- ・「お手伝いしましょうか?」「どうすればいいですか?」と本人に聞く
- ・最低でも4人以上を集めて、移動をサポートする
- ・折りたたみ式担架やエアーストレッチャーがあれば、それを利用する

■知的・発達障がい

- ・大声や早口は避け、落ち着いた声でゆっくり話しかける
- ・「ドアの外まで移動しましょう」「廊下の先の階段を降りましょう」など、短く具体的な声かけをする



■もっと詳しく知りたい方へ

首相官邸「事前防災でいのちを守ろう
～災害が起きる前にできること～」

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>

JASSO「教職員のための障害学生就学支援ガイド

～(3) 災害時の支援～

https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/shogai_information/shien_guide/kyotsu/emergency.html

NHK「障害者のための防災情報サイト」

<https://at.web.nhk/heart/bousai/>

■「移動にサポートが必要な場合を想定した避難訓練研修」を開催

9月26日(金)に、薬学部と共催で行った避難訓練研修には、教職員と学生21人が参加しました。小人数でも無理なく安全に搬送できる「**エアーストレッチャー**」という機材を活用した避難方法について学び、実際に体験を行いました！大学のホームページにおいても紹介されました。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id14682.html



障がい学生支援室 一般教育棟D棟1階
開室時間:月～金 10:00～12:00/13:00～17:00
TEL:086-251-8553
E-mail:shien-dr@okayama-u.ac.jp

